

みと 美都



体育館トイレ「みんなのトイレ」完成

御津南部小学校
校長室だより
令和5年11月21日
No.29

一人一人が成長した けやき発表会



11月18日(土)、「けやき発表会」が開催されました。どの学年も、授業の時間や、朝や休み時間などの隙間の時間を使って練習や準備を重ねてきました。月曜日に、校内発表会がりましたが、その時よりも、ずいぶん上手になっていてびっくりしました。また、今年は、10月に研究発表会があり、それが終わってからの本格的な準備となりました。短い時間でしたが、自分たちの発表をよりよいものにするために、一人一人が努力したことが伝わってきました。

本番では、皆さんの精一杯歌う姿や演奏をする姿、大きな声でセリフを届けようとする姿、学年のみんなで気持ちを合わせて協力する姿、ハプニングをみんなでカバーし合う姿など、すてきな姿をいっぱい見ることができました。どの学年の発表もたいへん素晴らしかったです。学年が上がることに、内容のレベルが上がっていくこともわかりました。

1年生の発表は、入学してから、それぞれの学級が大事にしてきたことを、歌声で、元気いっぱいに表現してくれました。みんなで力を合わせてがんばることを大切にしてきたことがよく伝わってきました。

2年生は、歌と楽器の両方に挑戦しました。元気いっぱいはもちろんのこと、高い音をきれいに歌えたり、ピアノを正しくひいたり、練習の成果を存分に発揮してくれました。やる気いっぱいの2年生にはいつも驚かされます。

3年生は、すてきな話を劇団のように表現力豊かに歌い上げてくれました。こんなことができるのかというくらいの衝撃を受けました。お話を聞いた人たちは、みんな優しくなれたような気がしました。校長先生も心がほかほかに温まりました。



4年生の発表からは、みんなでワンチームになっていることにチャレンジしようとする、チームワークの良さや熱気がひしひしと伝わってきました。のびやかな歌声がとても素敵で、体育館の空気が違った感じがしました。

5年生は、リコーダー演奏あり、ダンスあり、リズム演奏あり、歌声あり、バラエティーに富んだ内容でした。ビリーブや威風堂々など、高学年らしい楽曲を見事にやりきりました。仲間を大事にしている様子が伝わってきました。

6年生は、このメンバーでつくる最後のけやき発表会で、6年間の協力の成果、努力の成果を示してくれました。今日もみんなでやるべきことをしっかりとやりきり、一人一人が成長した姿を見せてくれました。学校へ来るのもあと70数日です。朗読した詩のように、一瞬一瞬を大切に、しっかり歩いてほしいと思います。

校長先生は、こうして、みんなの前で発表するという機会はとても大事だと思っています。みんなから注目を浴びて、すごく緊張したと思います。でも、大きな体育館では、本気にならないと言葉も歌声も届きません。だから、力を振り絞って何とか乗り越えようとする、この経験、この努力こそが、自信や満足につながるのだと先生は思います。

また、学年の仲間と協力するという機会はもっと大事だと思っています。本気で協力しないとよいものにはなりません。仲間と気持ちを一つにする、仲間のためにも精一杯の力を発揮する、この経験、この行動こそが、一体感や達成感を高め、きずなを深めることにつながるのだと思います。

「けやき発表会」に、多くの保護者の皆様、来賓、地域の方々にお越しいただきました。子どもたちに大きな拍手と温かなまなざしを送ってくださり、本当にありがとうございました。また、優先席の入れ替わりや駐車場の出入りについてもご協力いただき感謝いたします。



次は、かけ足運動がんばろう

今日、11月21日(火)から、かけ足運動が始まりました。これから、ほぼ毎日、みとなんタイムの時間に行きます。全9回を予定しています。準備運動の後、約5分間、自分のペースでかけ足をおこない、走った距離はマラソンカードなどに記録していきます。寒い日が続きそうですが、寒さに負けずに、南部小の子どもたちは、楽しく、粘り強くがんばってくれると期待しています。12月7日(木)に行われる持久走大会に向けて、頑張りましょう！



新型コロナウイルス感染症に加え、季節性のインフルエンザの感染拡大が心配です。基本的な感染症対策を取りながら、できる限り、計画通りに教育活動を展開したいと考えておりますので、各御家庭でも、引き続き感染症対策への御協力をお願いいたします。体調がすぐれない場合は、学校へ連絡ください。